

ほっと安心 ふっと嬉しい 個別的日常生活支援ガイド

所属 組 氏名 A男 策定責任者 策定年月日 平成 19 年 4 月 1 日

1. <起床>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 自分で起きてくることができる 		<ul style="list-style-type: none"> 6:30「おはよう」と声を掛け、トイレに誘い、パジャマに着替える。 夜尿があり、だるそうな時には、発作があった時なのでルピアルを使用する。 布団は職員がしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 声を掛ける前に起きてきてくれたら「おはよう」と声を掛け、待たせないように着替える 朝食までの間ビデオを見たり、本人の自由にしてもらう

2. <着脱>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 一部介助 	<ul style="list-style-type: none"> 夜の着替えは職員とするため、パジャマ、下着はかごに入れフロアーに準備しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 「服脱いで」の声掛けで自分から脱いでくれる。 上着・ズボンなど少し引っかけると自分で着てくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 必ず「～脱ぐよ」「～着るよ」の声を掛けてから着脱する。 自分からやってくれた時には「ありがとう、上手にできるね」などの声掛けを忘れない。

3. <洗面>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 全面介助 声掛けで洗面台の場所には来られる 		<ul style="list-style-type: none"> 「顔洗うよ」と声を掛け誘導する。 濡れたタオルを使用し、やさしく顔を拭く。目、口の回りは汚れていることが多いので丁寧に拭く。 	<ul style="list-style-type: none"> 洗面台に来てくれたときには誉め、待たせない 終わったら「きれいになったよ」と声を掛ける 本人が嫌がるときには無理をせず、少ししてからもう一度誘う。

4. <食事>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 自立 	<ul style="list-style-type: none"> 食量：中 小鉢の用意 朝：3個 昼、夜4個 大きなスプーン、緑のお盆 白飯の時にはふりかけが必要 朝食のパン：トーストマーガリン2枚 薬：朝、昼、夕あり 	<ul style="list-style-type: none"> 平皿のままだと食べづらいのでおかずは小分けにする。 太りぎみなのであらかじめご飯の量油ものなどは調節する。 食事が終わると全部ではないが食器を片付けることができる。いただきましたという意味で片付けてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ご飯だよ、どうぞ」の声掛けで誘導。 椅子が引いてないと自分で座れないため、椅子は引いておく 自分から食事に来てくれたら「ありがとう、来てくれたの」と誉め、先に挨拶をして食べてもらう。 食器を片付けてくれたときには必ず誉める。

5. <歯磨き>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 全面介助 		<ul style="list-style-type: none"> 食後「歯磨きするよ」と声を掛け誘導。職員が膝枕をし、横になった状態で磨く。 歯肉のほうに食べカスなどが残りやすいため人差し指を入れ、全体をブラッシングできるようにする。 うがいの水は飲んでしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 部屋に行ってしまったから歯磨きに誘っても来てくれないので、食後すぐに磨く。 磨き終わったら「きれいになったよ」と声を掛ける。 口内炎ができてやすいので、歯磨きをする際に確認する。

6. <排泄>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・ 一部介助	・ 排泄記録表の記入	<ul style="list-style-type: none"> 起床時、毎食後、就寝前排泄に誘う 定時の排泄時には必ず排泄表を付け引継ぎをしていく。 排便は朝食後から10:00ごろまでの間にあることが多い。(2回) 排泄に来た時には便が出るように声掛けしてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 排泄に誘って出たときには「出たね、ありがとう。」と声を掛ける。 自分から来てくれたときには、いっぱい誉める 怒っているとき、不満があるときなど便コネをすることがあるが、「～だから怒っているんだよね」など気持ちを言語化する。

7. <入浴>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・ 全面介助	・ 専用のトニックシャンプー、リンス	<ul style="list-style-type: none"> お湯に触ってもらい湯加減を確認してもらってからお湯を掛ける 洗髪、洗体は介助にて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 早くお風呂に入りたい人なので浴室に来てから待たせない。 お湯をかけるとき、洗髪、洗体する時には必ずひと声掛ける。 長湯が好きだが入りすぎたのぼせないように、様子を見ながら「どう、もう出ようか」と声を掛け、手を出してみる。嫌なときには手を後ろに回し「いや」というので、少し時間をおいてからもう一度誘う。

8. <就寝・夜間>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・ とけあう体験をしながら寝る	<ul style="list-style-type: none"> 選択カード(ビデオ、TEL、寝る) 夏期、あぶらとりティッシュ 夏期、タオルケット使用 夜尿シート 担任出勤ボードを作成(C勤) 	<ul style="list-style-type: none"> カードを使い、今何をしたいのか本人を選んでもらう。(3択 寝る、ビデオ) TVが見たいと言ったら布団は敷いておきいつでも眠れるようにし、居室の電気を消し専用のスタンドをつける 布団に横になったらとけあう体験をすると、気持ちよく眠れる。 	<ul style="list-style-type: none"> TELをしたいという要求があったときには、TELをかけ両親と話す時間を作る 保護者の出入りなどがありなかなか寝つけないときは、お母さんの話などをしながらとけあう体験をする。 夜中にいびきをかくことがあるが、発作の可能性があるので脈を取ったりして様子を見る。 夜中起きて来たときなどは伝えたい事があることを理解し、話しを聞く。また、本人が起きたいと訴えるときはTVとビデオを付けて、起きていてもOKなことを配慮する。

9. <爪切り>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・ 全介助		<ul style="list-style-type: none"> 入浴後に「爪切ろうか」と本人に聞いてから切る。 最初は少し怖がるので、優しく、慎重に切る。 	<ul style="list-style-type: none"> 大丈夫であること話し、上手にやらせてくれたら「お兄さんだね」としっかり誉める。 発作に注意する。

10. <耳そうじ>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・ 全介助	・ 綿棒	<ul style="list-style-type: none"> 入浴後、「耳掃除するよ」と声を掛け、椅子に座ってもらう。 苦手なので、途中、首を左右に振るときがあるので、空いてる側の手で頭部をしっかり支えて耳掃除する。 	<ul style="list-style-type: none"> 嫌がる時は「どうしてやらなくてはいけないか」をしっかり話し、もう一度やらせてもらう。 誉めるとやらせてくれることが多い「お兄さんだね」「かっこいいよ」など 耳垂れがあるので、日常注意する。

11. <ひげ剃り>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 全介助 	<ul style="list-style-type: none"> 本人の髭剃り 	<ul style="list-style-type: none"> 「ひげ剃るよ」と声を掛けてから剃り始める。 椅子に座ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 肌が弱いので、あごの下などがぶれ易いので注意する。洗面後、ゆっくり丁寧に剃る。 湿疹など、皮膚に異常がある場合は、その部分を避けて剃るようにする。

12. <移動>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 自立 	屋内 <ul style="list-style-type: none"> 靴下は嫌がるので、外出以外は履かせない。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行は可能だが、発作などにより、歩行が不安定になる場合もあるので、支えられるように気配りをしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 段差や狭い箇所は苦手なので、転倒・衝突など注意して誘導する。 本人が許してくれるのなら、手をつないで移動する。 本人の歩行のペースにあわせて移動する。
	屋外 <ul style="list-style-type: none"> 屋内同様 	<ul style="list-style-type: none"> 発作により、転倒の危険があるので土手などの近くを移動する時は注意が必要。 エスカレーター、階段は登れない。 	

13. <健康>

一般的な健康状態（体力、疲れ易さ、風邪のひき易さ等）	てんかんの状況と対応 （発作の有無・服薬の内容・原因と思われること・発作の状況や対応）
<ul style="list-style-type: none"> 風邪等 特に問題なし 	<ul style="list-style-type: none"> 抗てんかん薬を毎食後に服用中 天候の変わり目には発作が起こりやすい。行事が近いとき、保護者についての心配事などがある時に発作が起こりやすい。 一瞬動きが止まったりする小発作、動きが止まり後ろに倒れてしまう発作、全身のけいれん硬直を伴う大発作がある。 起床時に失尿していたら夜間発作があった可能性があるためルピアル座薬を使用する。 発作があった時には、失禁、チアノーゼ、脈などの確認をする。
風邪・発熱時の状況と対応 （症状のおよその傾向と対応・静養の仕方・食事への配慮・検温の仕方等）	内科的疾患（腹痛・下痢・便秘等の状況と対応）
<ul style="list-style-type: none"> 発熱 特に問題なし 検温の仕方 本人を寝かせ腋の下で測定。動いてしまったり取ってしまおうとするため職員が一緒にいて測定する。 静養の仕方 居室のビデオ・TVをつけておく。嫌になると起きて来てしまう。 係わりについて どうして寝ていなくてはいけないのかしっかりと話をする。 食事について 食事が取れない時には、本人の好きなものを準備する。 （プリン、甘いお菓子、スナック菓子、おこね、コーヒー、スポーツドリンク） 排泄について 居室にて静養中は紙おむつを使用してもらう。 おむつが濡れると自分でおむつを脱いでしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 腹痛 特に問題なし 下痢 お心により下痢をしてしまうことがある。 便秘 特に問題なし

皮膚科的疾患（水虫・アトピー性皮膚炎・脂漏性湿疹等の状況と対応）	その他の疾患（耳鼻咽喉科・眼科等の状況と対応について）
<ul style="list-style-type: none"> 傷口が化膿しやすく、治りにくい 専用のシャンプー・リンス使用（ただれやすいため） 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー体質（花粉症）早めの通院を考える。服薬すると日中の睡眠時間が多くなったりするので経過を観察する。
視力・聴力	内服薬の服用方法
<ul style="list-style-type: none"> 問題なし 	<ul style="list-style-type: none"> 服薬について粉薬、錠剤、シロップなど時に問題なく飲むことができる 服薬を嫌がる時には、なぜ飲むのか説明したり、少し時間をおいて再度お話する。
外用薬等の使用方法	本人の異常（発熱・頭痛・腹痛・歯痛）の訴え
<ul style="list-style-type: none"> 外傷について絆創膏、包帯は取って捨ててしまう。 発熱時ボルタレン 50mg 使用 	<ul style="list-style-type: none"> 小発作が頻繁な時は注意・観察が必要。

14. 通院の状況

通院の状況	支援の方法	心遣いの内容
<ul style="list-style-type: none"> 定期通院なし 転倒等による外科通院が多い。 花粉症の通院 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に予定をカレンダーに貼る。 拘束用のネットを使用する（歯科医） 治療内容を具体的に伝え、心配ないことを話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰省や旅行前だと、この怪我が原因でいけるかどうか不安になる事があるので、保証していく。 通院後は家庭に連絡し、誉めてもらう。

15. 身の回り品等の整理整頓

整理整頓の状況	支援の方法	心遣いの内容
<ul style="list-style-type: none"> おもちゃや皿を部屋中に並べる事が好き 片付けは、自分の手に持っているものやしゅういの2～3個は可能。それ以外は支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 布団を引く時、就寝前に本人に断ってから片付ける。 長期休みを利用して担任がビデオ、おもちゃのの整理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 本人が自分で取りだせるように支援する。

16. 金銭管理と活用

管理と使用の状況	支援の方法	心遣いの内容
<ul style="list-style-type: none"> 担任管理 月二回の外出（外食・買い物） おやつ後のおやつ 	<ul style="list-style-type: none"> 本人と相談して購入する。 	<ul style="list-style-type: none"> おやつ等切らさないように職員側で配慮する。

17. 電話

掛けている状況	支援の方法	心遣いの内容
<ul style="list-style-type: none"> 就寝前にカードで選択した時 本人が家族に伝えたい事がある時随時 	<ul style="list-style-type: none"> 掛ける前に本人と話の内容を相談し、職員が代弁する。 椅子に座ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話で本人にとってのマイナスイメージのことは、本人の前では話さない。

確 認		
園 長	主 任	保 護 者
月 日	月 日	月 日